

公共事業等施行状況調（令和3年3月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	項目 年度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (3月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		2年度 C	C/A	元年度 D	D/B	
		2年度	元年度	2年度 A	元年度 B					
1	治山・治水	34,620	29,102	22,700	18,681	15,643	68.9	16,524	88.5	
2	農林・水産	42,068	36,132	32,539	27,866	23,159	71.2	18,962	68.0	
3	道 路	75,779	60,242	51,346	38,062	34,545	67.3	32,072	84.3	
4	港湾・空港	8,800	6,645	5,199	3,507	3,813	73.3	2,425	69.1	
5	下水道・公園	8,884	6,163	2,547	3,651	2,387	93.7	3,517	96.3	
6	住 宅	2,091	1,710	1,684	1,100	1,396	82.9	1,058	96.2	
7	庁 舎	1,444	741	1,332	601	914	68.6	605	100.7	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	20,030	8,689	14,916	7,468	4,589	30.8	3,945	52.8	
11	工業用水・上水道等	905	996	89	134	85	95.5	119	88.8	
12	災害復旧	414	201	336	88	127	37.8	88	100.0	
13	その他	11,933	7,723	8,600	4,478	7,373	85.7	3,407	76.1	
	計	206,968	158,343	141,287	105,635	94,031	66.6	82,721	78.3	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和3年3月末）

（単位：社、件、百万円、％）

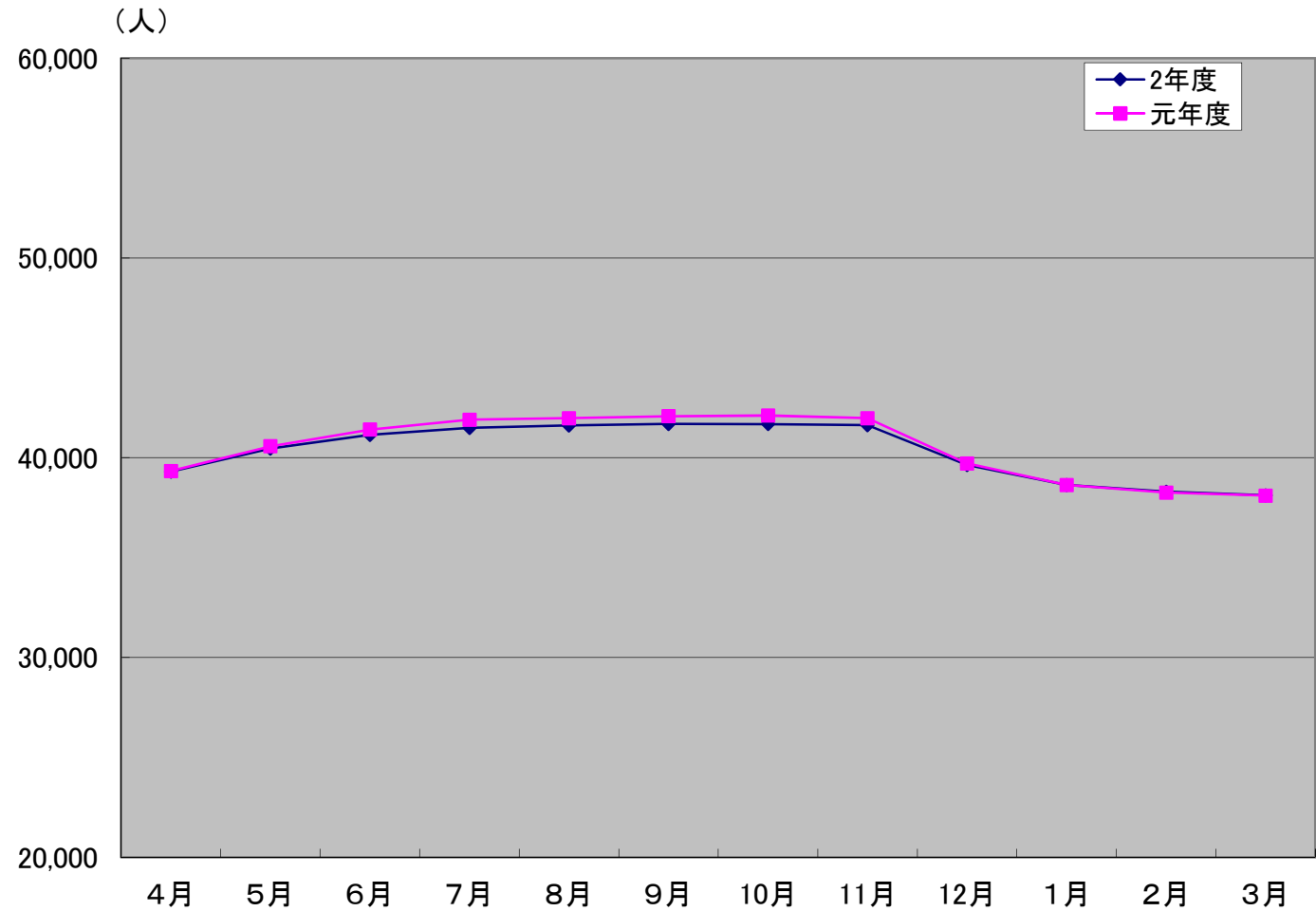
事 項	予 算 措 置 額		発 注 実 績											
	(A)		合 計 (B)			県 内 (C)			県 外 (D)			共 同 企 業 体 (E)		
区 分	事業費	本工事費	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額	指名業者等	契 約	金 額
2年度	206,968	141,287	31,460	3,201	94,031	30,745	3,078	82,511	593	88	4,131	122	35	7,390
					B/A 発注率	C/B		D/B		E/B				
					66.6	97.7	96.2	87.7	1.9	2.7	4.4	0.4	1.1	7.9
前年度比	130.7	133.8	108.2	106.9	113.7	108.4	106.9	112.8	94.1	92.6	136.9	127.1	166.7	112.9
元年度	158,343	105,635	29,078	2,994	82,721	28,352	2,878	73,157	630	95	3,017	96	21	6,547
					B/A	C/B		D/B		E/B				
					78.3	97.5	96.1	88.4	2.2	3.2	3.6	0.3	0.7	7.9

被保険者数

	2年度	元年度
4月	39,303	39,329
5月	40,467	40,575
6月	41,148	41,411
7月	41,492	41,898
8月	41,611	41,985
9月	41,687	42,080
10月	41,689	42,115
11月	41,636	41,978
12月	39,646	39,712
1月	38,642	38,636
2月	38,307	38,252
3月	38,119	38,104

前月末被保険者数	38,307
資格取得者数	564
資格喪失者数	744
転入者数	22
転出者数	30
今月末被保険者数	38,119

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)3月末



建設資材の需給・価格動向調査 (3年4月)

	需給動向									価格動向									備 考						
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均		
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○		県内の2月の販売量は2万1千トン(セメント協会調べ)で前年同月比16.2%の増。メーカー各社は、値上げ未達分の浸透に向け需要家と交渉を継続。主たる需要家の生コンメーカーは、燃料の上伸に伴う輸送コストの増加や、骨材などの調達コストが経営を圧迫しているとして抵抗しており、交渉は進んでいない。先行き、横ばい推移の公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○		商いは閑散しており、需給に引き締まりが見られないなか、需要家の購入姿勢は一段と厳しさを増している。一部のメーカーは、鉄などの原材料、運搬コストの増加を理由に値上げを打ち出しているものの、需要家の反発が強く値上げ交渉は難航している。先行き、横ばいの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○		県内の3月の出荷量は5万m3(生コン工組調べ)で前年同月比68.5%の増。一部の地域では風力発電および、使用済燃料再処理工場向けの出荷が好調である。しかし、その他地区の一般物件の需要は例年並みもしくは例年の出荷量を下回っている。こうしたなか、一部のメーカーは製造・輸送コストの増加を理由に値上げを打ち出しているものの、需要家の反発が強く値上げ交渉は難航している。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕石		○			○			○			○			○			○			○			○		需要は道路補修などの小口物件が中心で低調に推移。工事量の減少を理由に需要家の指し値は厳しいものの、メーカー各社は出荷量減による固定費率や人件費の上昇、燃料の高騰を背景に現行価格を維持する姿勢。先行き、横ばいの公算が大きい。
小棒		○			○			○			○			○			○			○			○		SD295A・D16でトン当たり79,000円と前月比変わらず。原料の鉄スクラップ価格が小幅下落したが、依然として高値圏で推移している。加えて、電力料金や副資材価格が上昇しているため、電戸メーカー各社は値上げ姿勢を崩していない。しかし、商いは盛り上がりや欠く展開が続いており、需要家はさらなる値上げには難色を示している。こうしたなか、メーカー、流通筋とも、製造コスト上昇による値上げ未達分の浸透を目指し、需要家と交渉を継続。目先、強含みの公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○		3月の県内出荷量は5万5千トン(合材協会調べ)で前年同期比14.1%の増。これは、復興道路開通向け出荷によるもので、その他の物件では道路改良や維持修繕など小規模工事向けが中心の状況。メーカー各社は、輸送コストやストア価格の上昇から値上げの意向にあるが、需要家の反発も大きく、現行価格維持が精いっぱい。先行き、横ばいの見通し。
木材		○			○			○			○			○			○			○			○		管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり68,000円と前月比変わらず。2月の県内新設住宅着工戸数は291戸で前年同月比6.6%の増加(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比8.8%の減少、それに次ぐ貸家が同70.5%の減少と前月の大幅増から反落したが、分譲マンションが同65.6%増と大きく寄与。新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う景気の閉塞感を背景に、全国の新設住宅着工戸数は20カ月連続で減少し、建築用木材の需要は低調。こうしたなか、米松などの輸入価格が上昇しており、国内大手製材業者が値上げを発表している。新規の引き合い少なく、先行き、横ばいの見通し。
油類		○			○			○			○			○			○			○			○		軽油はミニローリー渡りでリットル当たり104円、重油はローリー渡りで65円と共に前月比3円上伸した。主要産油国の減産量緩和が小幅だったことから、原油相場は3月中旬まで上昇。3月下旬には欧州などで新型コロナウイルス再拡大の影響で下落に転じたが前月より一段高で推移。これを受けた元売り各社は仕切価格を見直し、流通筋は販売価格への転嫁を進めた。その後、原油相場は減産の動向や為替変動などを背景に上下動を続け、市場は様子見の姿勢。目先、横ばいの見込み。
型枠合板			○			○			○				○				○						○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,330円と前月比30円の上伸。3カ月連続の値上がりとなった。2月の輸入合板入荷量は16万9千m3(財務省調べ)で前年同月比3.2%減。現地の天候不順による原木不足や労働者不足が払拭されず、入荷量は低調なまま推移。現地価格の上昇で商社も買い付けに二の足を踏んでおり、需給ひっ迫への懸念が一層強まっている。こうしたなか、流通筋が仕入れ価格の上昇を理由に値上げの動きを強め、需要家が調達を優先したため続伸した。国内需要は低調だが、品薄の解消にめどは立っており、目先、強含みの見通し。
形鋼		○			○			○			○			○			○			○			○		200×100でトン当たり87,000円と前月比変わらず。市中荷動きに影響する中小物件需要が振るわず、依然として商況は盛り上がり欠いている。メーカー各社は、原料が依然高値で推移しているとして、価格優先の販売姿勢を堅持。流通筋の値上げ交渉は続いているが、鉄スクラップ価格の下落を背景とする需要家の抵抗もあり、年初からの上伸基調も一服状態となった。流通筋は、日増しに収益が悪化しているとして、売り腰をさらに強めて交渉に臨む構え。目先、強含みで推移する公算が大きい。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (3年4月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリーム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	31,100	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	12,900	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,100	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,300	0.0	3,467	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	103,000	0.0	103,000	0.0	103,000	0.0	103,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	79,000	0.0	79,000	0.0	79,000	0.0	79,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	80,000	8.1	80,000	8.1	80,000	8.1	80,000	8.1	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	68,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	104.0	3.0	104.0	3.0	104.0	3.0	104.0	3.0	104,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	65.0	4.8	65.0	4.8	65.0	4.8	65.0	4.8	65,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,330	2.3	1,330	2.3	1,330	2.3	1,330	2.3	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	87,000	0.0	87,000	0.0	87,000	0.0	87,000	0.0	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

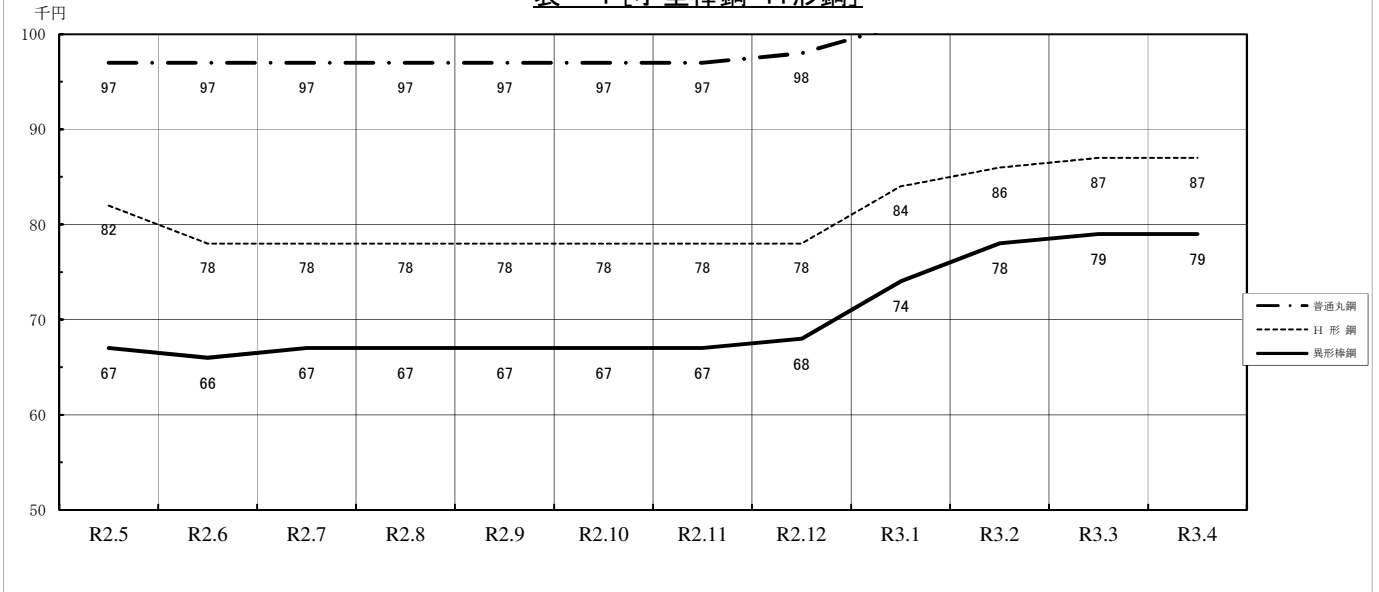


表-2 [セメント・生コン]

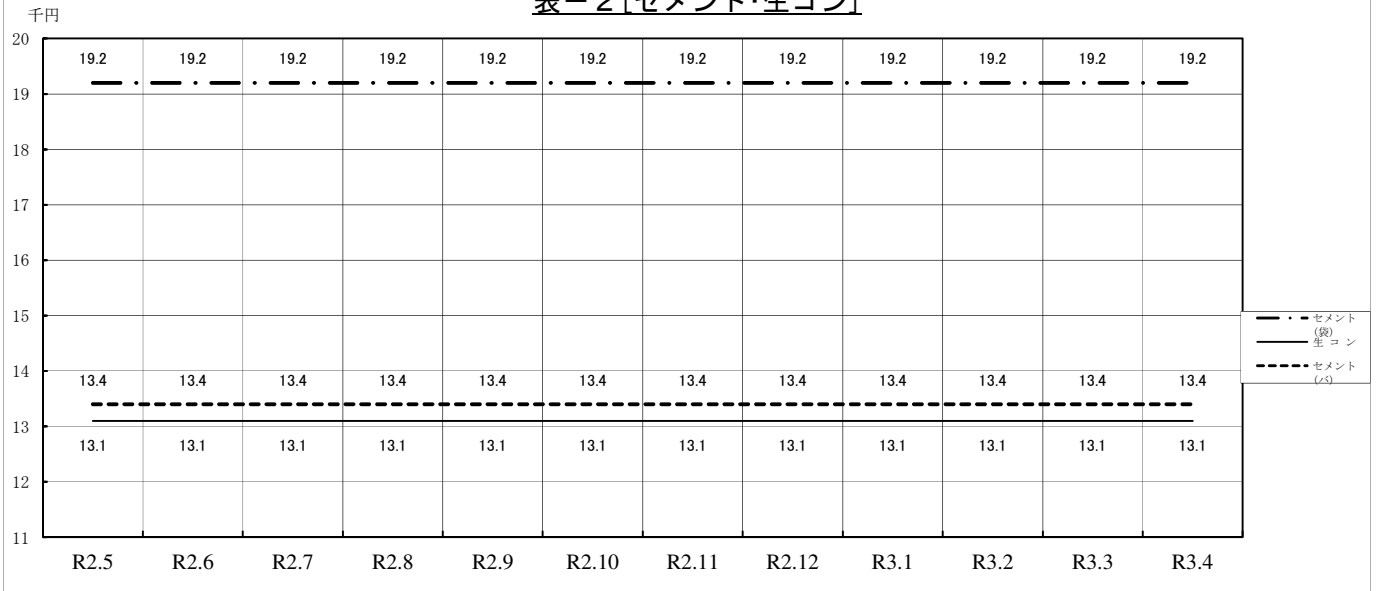
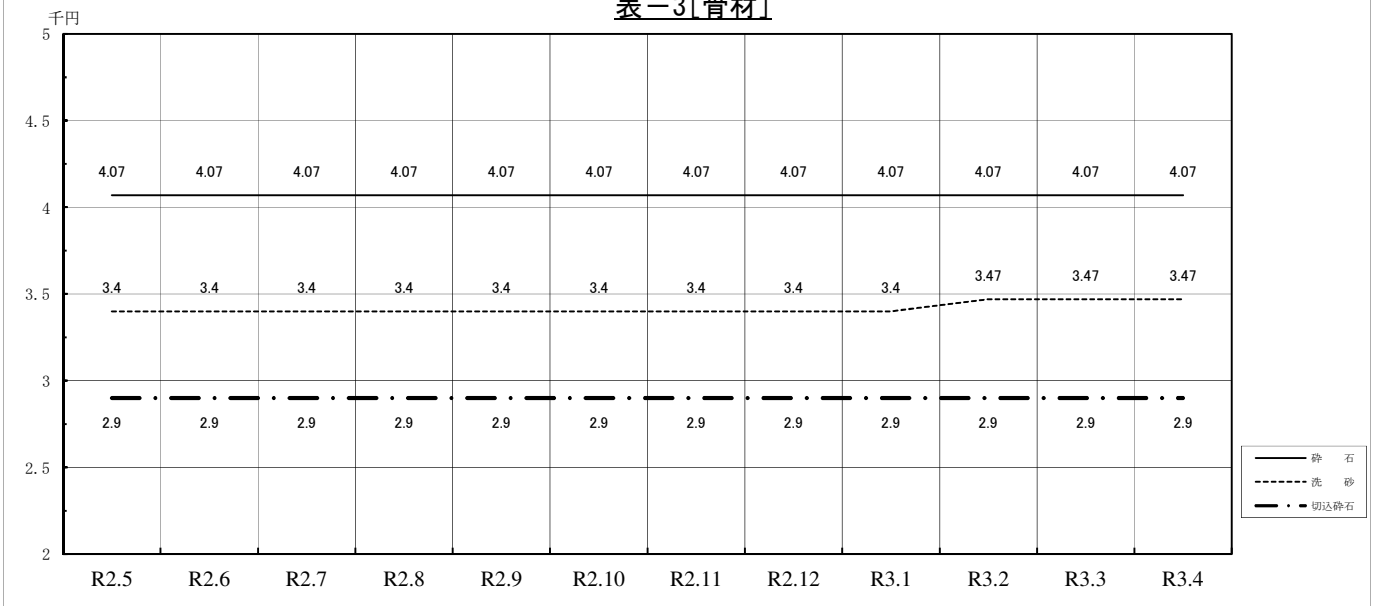


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

